

果樹病虫害発生予察調査結果（８／８調査分）
（三条、加茂、田上地域）

８月８日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共 通）

- ナシヒメシンクイの誘殺数は平年よりも多い状況です。加害樹種の中心は今後、モモからナシへ移行するため、ＪＡの防除情報等を参考にし、被害防止に努めましょう。
- ハダニ類の発生が拡大しています。高温・乾燥が続くと多発生が懸念されますので、葉裏の寄生状況を観察し、発生初期に防除を実施しましょう。
- クワシロカイガラムシは８月第１半旬にふ化が確認されています。園地の状況を確認し、ふ化期のうちに防除を実施しましょう。
- 台風の発生、進路に注意し、荒天になる前に防風・排水対策を実施しましょう。

（ナ シ）

調査地点ごとに５新梢、１００果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は発生が増加しています。り病葉や落下した果実は見つけしだい園外へ持ち出し、ほうき枝となりそうな徒長枝は、８月末までに整理しましょう。
- 今回の調査で、黒星病の発生は確認されませんでした。発生量の少ない状態が続いていますが、収穫中の品種へのドリフトに注意しながら、定期的な防除で被害防止に努めましょう。

（モ モ）

調査地点ごとに５新梢１００果を調査しました。

- せん孔細菌病は多くの園地において、新梢葉への発病が確認されています。収穫後の防除で、来年の発生量を減少させましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 今回調査で、べと病、褐斑病の被害が確認されました。園地をよく観察し、発生に注意しましょう。
- 一部で、アザミウマ類による被害が確認されています。9月中旬ごろまで加害が続く恐れがありますので、周囲の品種の収穫日に注意しながら防除を実施しましょう。

※今後も暑い日が続くので作業中の熱中症にも注意し、十分な水分補給等を行ってください。

次回調査は8月25日(月)を予定しています。

担当　：中越支所　果樹共済係 TEL：0258-36-8105 FAX：0258-34-8020
--